

歴史といで湯とタカトオコヒガンザウラ

# 信州 高遠城址公園 周辺で案内

## 高遠城址公園

古くから伊那谷の要所であった高遠城は、武田方仁科五郎盛信と織田信忠の攻防を最後に戦乱の時代に幕を閉じました。

明治4年(1871)廃藩置県となり、翌5年高遠城の建物は民間に払い下げられ、旧藩士達が桜の馬場から桜を移植した城跡は、明治8年(1875)城址公園となりました。本丸の老木はこの頃植えられたものです。

公園北口には休憩所・会合の場所として利用されている登録有形文化財『高遠閣』があり、その他公園内には太鼓櫓、当時の空堀や土居、無字の碑を始めとする数々の碑文等、古きを思ふ材料がたぐさんあります。また、夏の深緑、秋の紅葉等四季折々私達を楽しませてくれます。

## タカトオコヒガンザウラ

タカトオコヒガンザウラは明治8年頃から植え始め、樹齢100年を越える老木を含め、現在では約1500本の樹林となっています。その花形はやや小ぶりで赤みを帯び、その可憐さと規模の

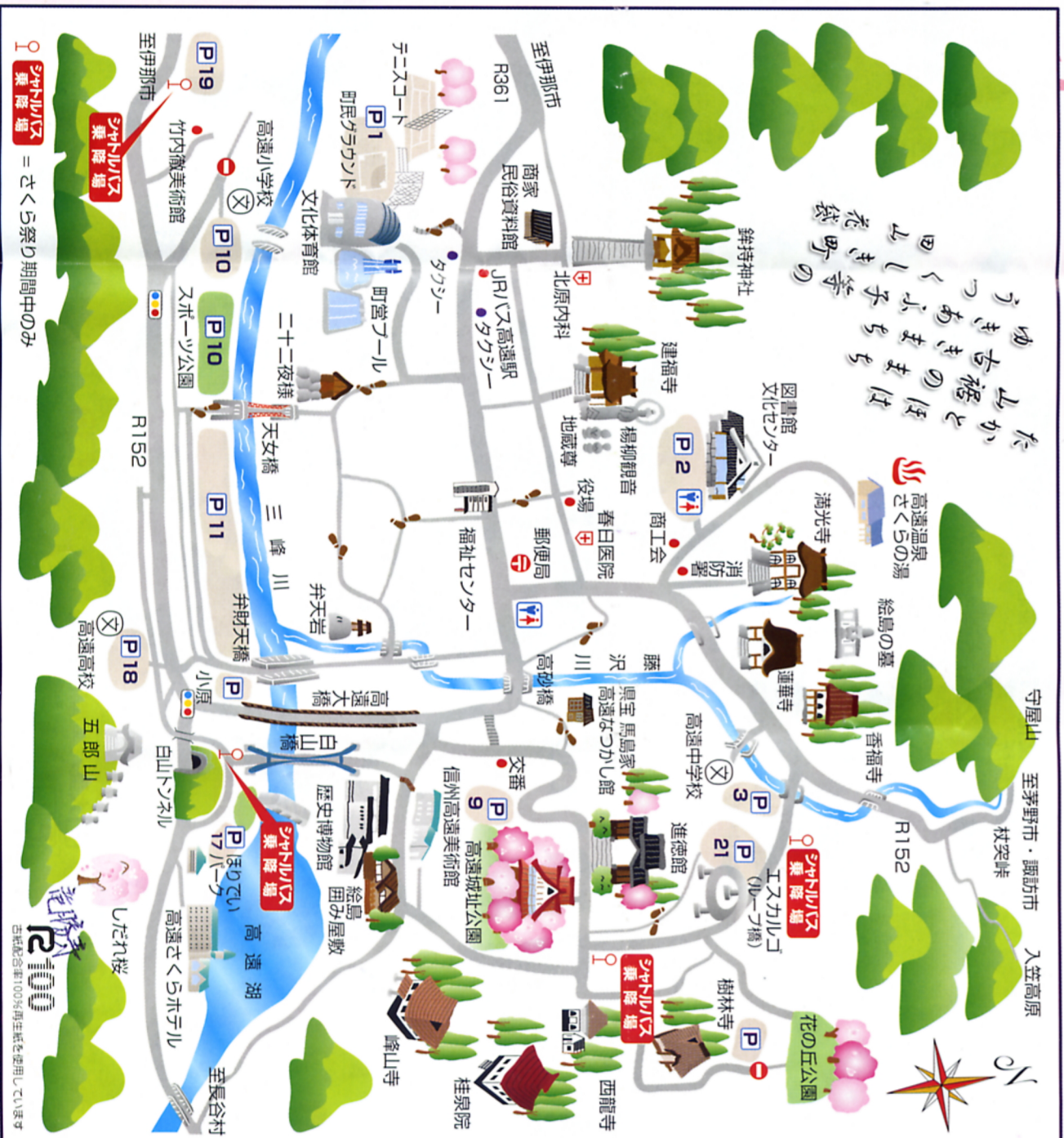
大きさは「天下第一の桜」と称されるほど県の天然記念物の指定を受け、平成2年には日本さくら会の「さくら名所百選」に選ばれています。



企画・発行

高遠町観光協会

TEL 0265-94-2552



9 高遠温泉 さくら湯 期間中のみ

古紙記念館100周年生紙を使用しています